

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公表番号】特表 2007-512259 (P2007-512259A)

【公表日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報 2007-018

【出願番号】特願 2006-540119 (P2006-540119)

【国際特許分類】

C 07 D 251/70 (2006.01)

C 07 D 403/14 (2006.01)

A 61 K 31/53 (2006.01)

A 61 K 38/00 (2006.01)

A 61 K 31/519 (2006.01)

A 61 K 31/57 (2006.01)

A 61 K 45/00 (2006.01)

A 61 P 37/06 (2006.01)

A 61 P 37/02 (2006.01)

A 61 P 7/00 (2006.01)

A 61 P 13/12 (2006.01)

A 61 P 19/02 (2006.01)

A 61 P 9/00 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 17/06 (2006.01)

A 61 P 1/04 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 27/02 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

A 61 P 21/00 (2006.01)

A 61 K 35/14 (2006.01)

C 07 K 1/22 (2006.01)

C 07 K 16/44 (2006.01)

【F I】

C 07 D 251/70 C S P D

C 07 D 403/14

C 07 D 251/70 E

C 07 D 251/70 F

A 61 K 31/53

A 61 K 37/02

A 61 K 31/519

A 61 K 31/57

A 61 K 45/00

A 61 P 37/06

A 61 P 37/02

A 61 P 7/00

A 61 P 13/12

A 61 P 19/02

A 61 P 9/00

A 61 P 29/00 1 0 1

A 61 P 17/06

A 6 1 P 1/04
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 27/02
 A 6 1 P 17/00
 A 6 1 P 21/00
 A 6 1 K 35/14
 C 0 7 K 1/22
 C 0 7 K 16/44

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月31日(2007.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

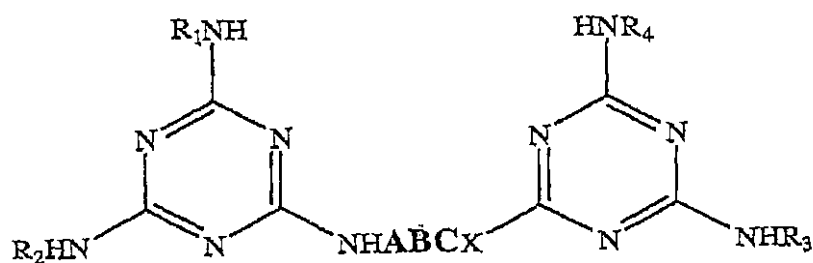
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式：

【化1】

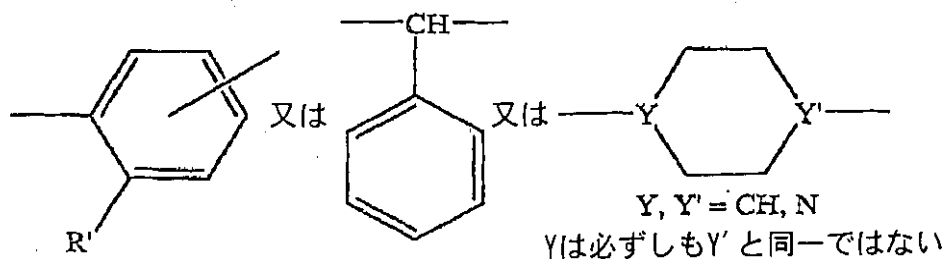


[式中、

Aは、 $-(CH_2)_n-$ (n は0、1、2、3である)であり；

Bは、0、または

【化2】



であり；

Cは、 $-(CH_2)_n-$ (n は0、1、2、3である)または $-C(CH_3)H-$ であり；

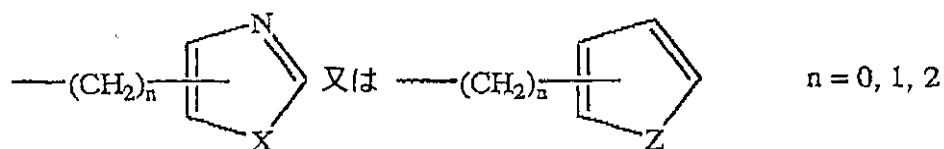
Xは、NH、0またはSであり；

R'は、水素または C_{1-4} アルキルであり；並びに

Aは必ずしもCと同一でない；

ここで、 R_1 、 R_2 、 R_3 および R_4 は独立に、 C_{2-4} ヒドロキシアルキル、 C_{2-4} アミノアルキル、トリフルオロメチル、ペンタフルオロエチル、フェニル、ナフチル、ベンジル、ビフェニル、フェネチル、ピペリジニル、メチルピペリジニル、エチルピペリジニル、インデニル、2,3-ジヒドロインデニル、 $C_4 - C_7$ シクロアルキル、 $C_4 - C_7$ シクロアルケニル、インドリル、メチルインドリル、エチルインドリル、および下記一般式：

【化 3】



で表わされる置換された5員の芳香族複素環（Xは上に定義した通りであり、ZはNHまたは CH_2 である）からなる群より選ばれる。]

で表される化合物。

【請求項 2】

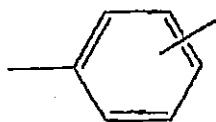
Aが $-(CH_2)_n-$ （ただし、nは0、1、2、3である）であり；

Cが $-(CH_2)_n-$ （ただし、nは0、1、2、3である）であり；

Aは必ずしもCと同一ではなく、 かつ

Bが

【化 4】



である、請求項1に記載の化合物。

【請求項 3】

A及びCが $-CH_2-$ であり、 かつBが0である、請求項1に記載の化合物。

【請求項 4】

R_1 および R_4 が、ヒドロキシエチル、ヒドロキシプロピル、ヒドロキシブチル、アミノ、アミノエチル、アミノプロピル、アミノブチル、フェニル、アニリノ、ヒドロキシフェニル、およびアミノフェネチルからなる群より選ばれ；

R_2 および R_3 が、アニリノ、アミノアニリノ、フェネチル、およびヒドロキシフェネチルからなる群より選ばれる、請求項2または3に記載の化合物。

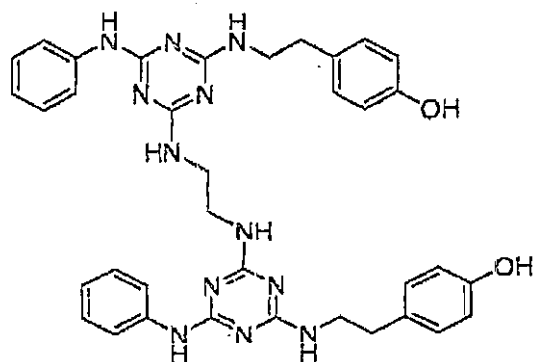
【請求項 5】

【化 5】

化合物番号

構造

1

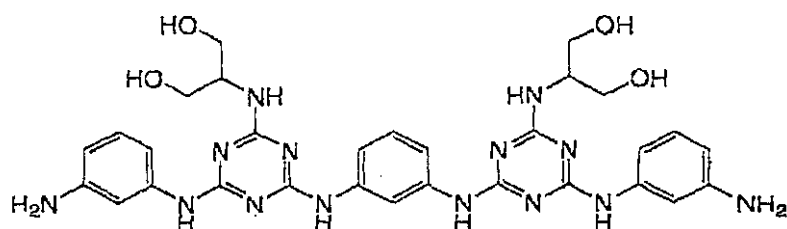


【化 6】

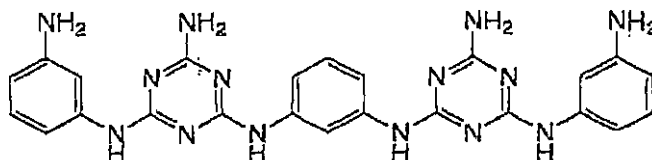
化合物番号

構造

50



51



からなる群より選ばれる化合物。

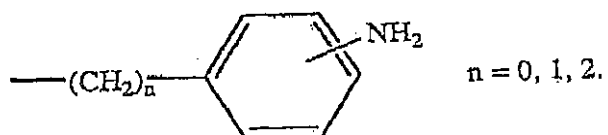
【請求項 6】

抗体に非共有結合的に結合することができる、請求項1～5のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項 7】

抗体に非共有結合的に結合ことができ、置換基 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 のうちの1つ、2つ、3つ、またはすべてが

【化 7】



である、請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項8】

前記抗体が、少なくともヒトIgGのアイソタイプからなる、請求項6または7に記載の化合物。

【請求項9】

請求項1～8のいずれか1項に記載の少なくとも1つの化合物と、薬学的に許容される担体とを組み合わせた組成物。

【請求項10】

前記担体が、アルコールまたはポリオール溶媒に前記化合物を溶解する、請求項9に記載の組成物。